



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 石原産業株式会社

コード番号 4028 URL <https://www.iskweb.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大久保 浩

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 CFO (氏名) 潮見 統一郎 (TEL) 06-6444-1850
財務本部長

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	39,289	△7.7	2,206	△57.6	4,142	△33.1	1,013	△78.6
2026年3月期第1四半期	42,561	13.2	5,206	191.4	6,190	49.7	4,737	64.8

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 2,048百万円(△52.5%) 2026年3月期第1四半期 4,307百万円(9.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	26.49	—
2026年3月期第1四半期	123.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	237,014	127,740	53.8
2026年3月期	240,408	129,178	53.7

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 127,545百万円 2026年3月期 128,991百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	30.00	—	90.00	120.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	50.00	—	80.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	75,000	△1.9	3,100	△57.9	3,800	△55.3	700	△87.6	18.29
通期	150,000	△3.2	14,200	△25.6	13,300	△38.8	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※業績予想の修正については、無機化学事業構造改革に関わる追加施策実施に伴う特別損失の発生が想定されますが、現時点では見積りが困難なため、親会社株主に帰属する当期純利益は公表していません。詳細は本日別途公表いたしました「2027年3月期第2四半期(中間期)及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	40,383,943株	2026年3月期	40,383,943株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	2,119,089株	2026年3月期	2,117,170株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	38,265,560株	2026年3月期1Q	38,258,245株

(注) 当社は取締役等に対する株式報酬制度「株式交付信託」を導入しており、当該信託口が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、中東情勢の緊迫化による地政学リスクの高まりなどを背景に、不透明な状況が続きました。日本経済は、個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られるなど緩やかな回復基調を維持したものの、物価上昇や海外景気の減速懸念などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

このような経済環境下において、当社グループの事業環境は、原材料価格や為替相場の変動に加え、地域間の需給差の影響を受けました。有機化学事業では、農薬の販売が米州及び欧州において出荷時期のずれなどにより減収となりました。無機化学事業では、電子材料及び機能性色材の販売が伸長し、増収となりました。

この結果、売上高は392億円（前年同期比32億円減）、営業利益は22億円（前年同期比30億円減）、経常利益は41億円（前年同期比20億円減）、連結子会社である富士チタン工業において減損損失を計上したことにより親会社株主に帰属する四半期純利益は10億円（前年同期比37億円減）となりました。

事業の種類別セグメントの状況は次のとおりであります。

(有機化学事業)

農薬の販売は、国内では順調に推移しました。海外では、インドで成長戦略剤である除草剤が好調に推移しました。一方、米州及び欧州では需要自体は堅調であったものの、欧州での天候による影響が前年度より落ち着いたことや出荷時期のずれなどで減収となりました。

農薬以外では、動物用医薬品の販売が国内外ともに増加しましたが、全体に与える影響は限定的でした。

損益面では、為替が円安基調で推移したものの、減収の影響や新規除草剤の共同開発費用17億円を計上したことなどにより、減益となりました。

この結果、有機化学事業の売上高は211億円（前年同期比42億円減）、営業利益は18億円（前年同期比25億円減）となりました。

(無機化学事業)

電子材料は、AIサーバー需要拡大を受けて積層セラミックコンデンサー向けの高純度酸化チタン及びチタン酸バリウムを中心に販売が増加しました。機能性色材では、導電性材料で国内及びアジアの販売が増加しました。ファインケミカルは、中東情勢を背景に在庫確保の動きがあったことにより販売が増加しました。

この結果、無機化学事業の売上高は170億円（前年同期比6億円増）、営業利益は15億円（前年同期比3億円減）となりました。

(その他の事業)

売上高は11億円（前年同期比2億円増）、営業利益は4千万円（前年同期並み）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて33億円減少し2,370億円となりました。資産の内、流動資産は28億円減少し1,589億円となりました。これは、現金及び預金が3億円、受取手形、売掛金及び契約資産が8億円増加しましたが、棚卸資産が43億円減少したことなどによるものです。固定資産は前連結会計年度末に比べて5億円減少し780億円となりました。これは、投資有価証券が27億円増加しましたが、有形固定資産が33億円減少したことなどによるものです。

負債については、前連結会計年度末に比べて19億円減少し1,092億円となりました。これは、未払金など其他流動負債が26億円増加しましたが、長短借入金・社債が22億円、未払法人税等が20億円減少したことなどによるものです。

純資産については、前連結会計年度末に比べて14億円減少し1,277億円となりました。これは、有価証券評価差額金が増加しましたが、利益剰余金が減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間につきましては、第1四半期の実績並びに最近の事業環境を踏まえ、2026年5月12日に公表しました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日開示しております「2027年3月期第2四半期（中間期）及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,424	29,741
受取手形、売掛金及び契約資産	46,749	47,603
電子記録債権	1,974	3,145
商品及び製品	41,504	44,997
仕掛品	5,793	6,403
原材料及び貯蔵品	32,882	24,386
その他	3,766	2,885
貸倒引当金	△286	△238
流動資産合計	161,808	158,924
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置（純額）	14,599	13,265
その他（純額）	38,902	36,912
有形固定資産合計	53,502	50,177
無形固定資産	2,314	2,363
投資その他の資産		
投資有価証券	13,625	16,336
繰延税金資産	6,966	7,169
退職給付に係る資産	42	47
その他	2,195	2,042
貸倒引当金	△48	△48
投資その他の資産合計	22,782	25,548
固定資産合計	78,599	78,090
資産合計	240,408	237,014

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,434	10,362
電子記録債務	976	970
短期借入金	22,049	22,009
1年内償還予定の社債	854	854
未払法人税等	3,367	1,325
引当金	1,511	2,389
その他	11,827	14,484
流動負債合計	52,021	52,396
固定負債		
社債	924	924
長期借入金	45,440	43,225
引当金	198	210
退職給付に係る負債	9,722	9,667
その他	2,921	2,849
固定負債合計	59,207	56,877
負債合計	111,229	109,274
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,420	43,420
資本剰余金	11,227	11,227
利益剰余金	68,658	66,188
自己株式	△3,143	△3,146
株主資本合計	120,162	117,689
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,281	2,002
繰延ヘッジ損益	-	△3
為替換算調整勘定	6,128	6,461
退職給付に係る調整累計額	1,419	1,395
その他の包括利益累計額合計	8,829	9,856
非支配株主持分	187	194
純資産合計	129,178	127,740
負債純資産合計	240,408	237,014

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	42,561	39,289
売上原価	30,245	27,901
売上総利益	12,316	11,388
販売費及び一般管理費	7,110	9,182
営業利益	5,206	2,206
営業外収益		
受取利息	66	45
受取配当金	99	259
持分法による投資利益	1,210	1,562
為替差益	-	439
その他	149	71
営業外収益合計	1,526	2,378
営業外費用		
支払利息	223	232
金融手数料	118	48
為替差損	160	-
その他	41	160
営業外費用合計	542	441
経常利益	6,190	4,142
特別利益		
投資有価証券売却益	19	102
特別利益合計	19	102
特別損失		
減損損失	93	2,523
固定資産処分損	380	150
特別損失合計	474	2,674
税金等調整前四半期純利益	5,736	1,570
法人税、住民税及び事業税	1,001	1,068
法人税等調整額	△12	△519
法人税等合計	988	548
四半期純利益	4,747	1,021
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,737	1,013

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	4,747	1,021
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26	719
繰延ヘッジ損益	-	△3
為替換算調整勘定	△779	217
退職給付に係る調整額	△38	△23
持分法適用会社に対する持分相当額	351	116
その他の包括利益合計	△439	1,026
四半期包括利益	4,307	2,048
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,298	2,040
非支配株主に係る四半期包括利益	9	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	有機化学事業	無機化学事業	その他の事業			
売上高						
外部顧客への売上高	25,345	16,379	836	42,561	—	42,561
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	549	549	△549	—
計	25,345	16,379	1,385	43,111	△549	42,561
セグメント利益	4,413	1,914	7	6,336	△1,129	5,206

(注) 1 調整額は、次のとおりであります。

セグメント利益の調整額△1,129百万円には、セグメント間取引消去55百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,185百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 地域に関する情報

売上高

(単位: 百万円)

日本	アジア	米州	欧州	その他	計
13,573	5,854	9,008	13,507	619	42,561

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2 本邦以外の地域区分は、地理的近接度及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主要な国又は地域は、次のとおりであります。

(1) アジア: 中国、台湾、韓国、タイ、インドネシア、シンガポール、インド

(2) 米州: 米国、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、メキシコ

(3) 欧州: ドイツ、オランダ、フランス、英国、ベルギー、イタリア、東欧及び中東地域

(4) その他: オーストラリア、ニュージーランド、アフリカ地域

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	有機化学事業	無機化学事業	その他の事業			
売上高						
外部顧客への売上高	21,124	17,032	1,133	39,289	—	39,289
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	996	996	△996	—
計	21,124	17,032	2,130	40,286	△996	39,289
セグメント利益	1,838	1,574	40	3,453	△1,247	2,206

(注) 1 調整額は、次のとおりであります。

セグメント利益の調整額△1,247百万円には、セグメント間取引消去55百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,303百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 地域に関する情報

売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	米州	欧州	その他	計
15,018	6,620	5,225	11,924	501	39,289

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2 本邦以外の地域区分は、地理的近接度及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主要な国又は地域は、次のとおりであります。

(1) アジア：中国、台湾、韓国、タイ、インドネシア、シンガポール、インド

(2) 米州：米国、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、メキシコ

(3) 欧州：ドイツ、オランダ、フランス、英国、ベルギー、イタリア、東欧及び中東地域

(4) その他：オーストラリア、ニュージーランド、アフリカ地域

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「無機化学事業」において、連結子会社である富士チタン工業株式会社の神戸工場について、減損損失2,523百万円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費及びその他の償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費及びその他の償却費	1,152百万円	1,317百万円